

夏の極暑も 親の厳しい意見も その時はつらいが 今になれば有り難い

今年の夏の暑さは例年にない暑さで、夏日の新記録も作った。時には体温よりも気温の高い日があったので、酷暑と言うより、極暑(ごくしょ)という言葉がありますがまさにその言葉がふさわしいように思われました。涼しい凌ぎやすい日が果たしてくるのかとさえ思いましたが、自然の力は偉大です。朝晩、寒ささえ感ずるようになりました。あの暑さを懐かしく思いながら、14年前に亡くなった父を思い出すとき、父の姿は厳しかった。

紙一枚も、水一滴も、米一粒も、仏法領のものを無駄にするな。生かせよ。と教えてくださいました。その父は念仏の一道を厳しく歩まれ、仏法聴聞を怠るな。聞法に励めよ。今日一日が大事だぞと私をお育て下されたのです。その父を、お彼岸を迎えようと、今は浄土の住人となられておられるのだなと懐かしく思い出すのです。父の厳しいお育てのお陰で、私もお念仏の生活の中に彼岸に向かって迷わず歩むことができる思いがいたします。

私たちの人生には次々と不都合なことが起こります。欲と欲がぶつかり合い、騙し騙され、裏切り裏切られ、互いに傷つき、悶々と日々を過ごさなければならぬ時もあります。こうした悩み苦しみの多い娑婆に生きていますと、なんとしてもそうした世界から逃れて、悩みも、悲しみも、怒りも、恨みも、罪もない浄い自由な境地を願うのは当然のことでありましょう。争いもなく、喜びと感謝の心が豊かに満ちた世界、それが彼岸の世界であります。彼岸の世界に到るには、聞法せずには到ることはできないのでしょうか。お念仏を忘れては渡ることはできないと思います。聞法をするには絶好の時季です。仏法を聞かせていただく中に、自分を静かに見つめてみましょう。合掌 住職 高島宣明



～ 質問コーナー ～

Q：お念珠(お数珠)は持っているのですが、使っておりません。なぜお念珠を持ってお参りするのですか？また、そのいわれを教えてください。

A：私が悩んだり苦しんだりするのは、私の内に秘む(ひそむ)108の煩惱によると、お釈迦様は教えてくださいました。念珠は捨てきれない108の煩惱を108の珠になぞらえ、仏様の願いを1本の糸として、その糸を108の珠に通して輪を作り、和の心を保ちたいと願い、煩惱だらけの私であることに気付かせていただくための大切な法具なのです。108の珠の念珠は大きいので、その半分、またその半分という作り方をします。念珠はお念仏を申す時だけでなく、生活の中に念珠は大事なのです。なぜなら、念珠を手にする時、煩惱だらけの私に気付かされ、謙虚な気持ちにもなりますので、人のいたるぬ事も大きな心で受け止められ、仏法を聞かせていただくという気持ちも深まるのでしよう。家族が揃って念珠を手にしてお内仏(仏壇)に向かって合掌、お念仏申す姿は美しいものです。そうした家族には争いは起こらないでしょう。

「牛久大仏報恩講の旅」のお誘い

報恩講とは親鸞聖人のご命日に聖人のご遺徳を偲び、ご恩に報謝する真宗門徒のもっとも大切な行事です。本弘寺では毎年11月21日に法要が勤まります。ご本山では11月28日午前10時より報恩講御満座法要が勤められます。御満座法要後、ご本山のご門徒の方々とバスで旅をさせていただきますので、一人でも多くの方と御縁をいただきながら、楽しい旅が出来ればと思っております。男女問わず、どなたでもご参加できます。是非ともご参加お待ちしております。

日時 平成16年11月28日(日) 午前7:30 本弘寺出発
29日(月) 午後6:30 本弘寺帰着予定
費用 19,000円(1泊4食付き)

11月28日	本弘寺発(7:30) - 東本願寺着(9:30) - 本山報恩講参詣(10:30) - 本山出発(13:00 車内昼食) - 水戸・善重寺参詣 - 筑波山ホテル青木屋着(16:30) 着後、別途1,000円がかかりますが、ロープウェイで夜景を堪能するツアー(自由参加)
11月29日	ホテル青木屋発(時間未定) - 牛久大仏報恩講参詣(10:00) - シャトーかみやにて昼食(13:00) - 東本願寺発(16:30) - 本弘寺着(18:30)

申込方法 参加費を添え11月8日までに本弘寺までお申し込みください。
お電話でのお申し込みでもけっこうです。
電話番号 042-(752)-3870



今後のお知らせと予定

月日	本弘寺	婦人会
11月21日 11月28～29日	報恩講法要	牛久報恩講の旅(1泊2日)
平成17年 1月1日 1月8日	修正会(初参り)	新年会
3月18～24日	春彼岸	お彼岸参拝者へのお茶接待